

JICA－JRFU スクラムプロジェクト連携事業

流通経済大学・JICA

国際スポーツボランティア活動報告会

流通経済大学ラグビー部の学生・教員を JICA 海外協力隊としてインドネシアに派遣

日本ラグビーフットボール協会が、国際協力機構(JICA)と設立した「JICA-JRFU スクラムプロジェクト」連携事業の一環として、関東大学リーグ戦1部に所属する流通経済大学と JICA 筑波との青年海外協力隊に関する連携事業の帰国報告会を実施する運びとなりましたのでお知らせいたします。

【報告会】

日時：2019年5月9日(木) 10:45～12:15

場所：流通経済大学(龍ヶ崎キャンパス) 5号館7階571教室

内容：学長挨拶、JICA 筑波所長挨拶、「派遣学生(ラグビー部)による発表」、
WEB 中継による現地スタッフのコメント発表

1. JICA-JRFU スクラムプロジェクトについて

独立行政法人国際協力機構(JICA)と公益財団法人日本ラグビーフットボール協会(JRFU)は、2013年に「JICA-JRFU スクラムプロジェクト」として連携を開始し、アジアを中心にラグビーを指導する青年海外協力隊員を派遣しています。

2. 流通経済大学との連携について

(1) 連携の背景

今回の連携においては、アジアラグビー執行理事でもある流通経済大学・西機真教授(スポーツ健康科学部・スポーツコミュニケーション学科)、ならびに JRFU 普及育成委員会国際協力部門長でもある向山昌利准教授(スポーツ健康科学部・スポーツコミュニケーション学科)の指導のもと、同大学ラグビーフットボール部(内山達二監督)の協力により、ラグビー部の学生・大学院生(含む卒業生)・教職員のなかから、1年間の長期派遣の隊員と1ヶ月間の短期派遣の隊員を複数名が派遣され、インドネシアのラグビー選手を集中指導しています。これに加えて、トレーニング、技術、戦術、マネジメント等に精通した教職員やラグビー部スタッフを青年海外協力隊もしくは、シニア海外協力隊として派遣し、専門的指導も行っています。

インドネシアのラグビーは世界ランク102位/105国中(2019年4月)と、まだまだこれからですが、こうした指導によりインドネシアラグビーのレベルアップやラグビーを通じたインドネシアの人材育成に繋がるものと期待されます。

また、流通経済大学は2013年、2014年に、関東大学ラグビー1部リーグで優勝するなど、近年、優れた成績を収め、優秀な選手を輩出しておりますが、この連携事業によるインドネシアでの指導経験を通して国際的に活躍できる人材の育成にも資することを期待しています。

流通経済大学プロフィール

1965年に日本通運株式会社の出捐により開学した産学連携を出発点とする大学。龍ヶ崎(茨城県)と新松戸(千葉県)にある2つのキャンパスを拠点に、5学部9学科、5つの大学院研究科を擁する社会科学系中規模総合大学です。開学以来スポーツ活動にも注力し、ラグビー部やサッカー部は全国屈指の強豪クラブとして知られ、これまでに日本代表選手も多数輩出しています。2017年4月には、新たに「スポーツコミュニケーション学科」を開設し、スポーツの力で社会、世界に貢献する人材の育成に取り組んでいます。

(2)連携の概要

派遣国	インドネシア共和国
配属先	インドネシアラグビー協会
派遣者	<p>流通経済大学(ラグビー部)の学生・大学院生・教職員。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期(1年間:1名/年×2年) ・短期(1ヶ月:10~15名/年×3年)を青年海外協力隊員として派遣 <p>※長期については、卒業生も対象とする。</p> <p>※教職員については、シニア海外協力隊としての派遣が可能。</p> <p>※トレーナー専攻の学生等、ラグビー部以外の学生も派遣が可能。</p>
本事業の目的	<p>大学の知見・人材を有効に活用することにより、インドネシア国におけるラグビーの普及・振興ならびに青少年の健全な育成を図るとともに、大学の国際協力分野における人材育成に資することを目的とする。</p>

活動概要	①-1: 代表チーム・大学チームとの合同練習実施 -2: コーチ・レフリー講習会開催 -3: S&C・メディカルトレーナー講習会開催 -4: 指導計画立案の補助 -5: 体力・運動能力・スキルなど各種調査 ②-1: 大会・試合運営の補助 -2: ジュニアチーム・学校体育での指導 -3: イベント・学校での体験プログラム実施 -4: 参加者人口・チーム活動など各種調査 ③-1: 現地チーム・選手・コーチとの交流 -2: 現地学校・コミュニティとの交流 -3: 在留日本人との交流 -4: 参加者の意識など各種調査 -5: 広報活動
------	---

3. JICA 海外協力隊大学連携事業とは？

連携に関する覚書を結んだ大学が、学生、院生、教職員を JICA 海外協力隊のグループとして派遣し、大学のもつ専門的知見を活かしてボランティア活動をバックアップすることから、派遣先での JICA 海外協力隊の活動とその指導の成果が一層充実したものとなることを目指すものです。2019年4月までに28大学が JICA と覚書を締結しています。

(参考)スポーツ分野の連携 13 大学

2014年 桜美林大学 コスタリカ / 野球	2014年 近畿大学 ペルー / 野球
2014年 国土舘大学 ブラジル / 剣道 (注)	2014年 筑波大学 カンボジア / 障がい者体育・スポーツ支援
2014年 日本体育大学 ブラジル / 野球 (注) カンボジア / 体育教員養成 ネパール / 一般体操 (注)	2014年 兵庫県立大学 アルゼンチン / 野球 (注) 2015年 福岡大学 ボリビア / サッカー、野球
2015年 北九州市立大学 グアテマラ / 野球 (注)	2015年 関西学院大学 スリランカ / 体力増進プログラム (注)
2017年 中京大学 アルゼンチン / 柔道 ポツワナ / ソフトボール	2017年 流通経済大学 インドネシア / ラグビー

2017年 福岡教育大学 タンザニア／野球	2017年 広島大学 ザンビア／柔道
--------------------------	-----------------------

(注)は終了案件

JICA 海外協力隊大学連携事業における、流通経済大学ラグビー部の報告会について、貴社媒体にて取材及び報道いただけましたら誠に幸甚です。

お手数ですが、取材いただける場合は、事前に下記の問い合わせ先までご連絡ください。

【帰国報告会に関する問い合わせ先】

JICA 筑波 連携推進課課 担当: 枝

TEL: 029-838-1117 E-mail: Eda-Koki@jica.go.jp